

金 網

生産は平成 16 年の 3 月には前年同月比横ばい程度となり、底打ちの気配が出てきた。ただ、企業規模や生産品種によってかなりばらつきがあり、零細層は減少基調の企業が多いが、中規模以上の企業では、強含みもしくは増加に転じてきた。採算については、原材料の鉄線・ステンレス線の価格が上昇しているのに対し、金網価格は大手ユーザーの抵抗が強いこともあって、多くの企業で線材価格の上昇分をすべて転嫁できず、厳しい状況となっている。これに対し、各社とも需要開拓に向けて懸命の取り組みを続けている。今後の見通しは、国内需要は緩やかな増加が続くものの、零細層は厳しい状況が続くとみられる。

業界の概要 金網は、防護、補強、選別、分離等の機能があり、織網、蛇籠（じゃかご）、菱形網、亀甲網、クリンプ網等に大別されるが、品種、生産金額、企業数は織網が最も多い。用途をみると、織網はフィルターとして種々の工業用に使われるほか、自動車や電気・電子製品の部品や家庭用雑貨として使われている。他の網はビル建築の基礎工事などの補強用、河川改修工事用及び土砂崩れ防止用、各種のフェンスなどに使用される。このように、金網の需要業界は、建築、雑貨、化学、自動車、電気等の種々の分野にまたがっている。

金網製造業の規模をみると、全国では従業者 20 人未満の企業が 71.3%を占め（平成 13 年、経済産業省『工業統計表（品目編）』、従業者 4 人以上）、うち家族労働主体の企業はその半数以上を占めるとみられる。大手企業でも従業者数は 100 人台に過ぎない。

また、需要分野が広範で品種が多様化しており、すべて自社生産で対応することは大手企業でさえ難しいため、一部を外注するのが一般的である。

大阪産地の特徴 府内の金網製造業は、平成 13 年で事業所数 116、製造品等出荷額 233 億 2,100 万円で、全国に占める地位は、各々 18.5%、13.5%で事業所数は 1 位、出荷額は香川県に次いで 2 位となっている（平成 13 年、経済産業省『工業統計表（品目編）』、従業者 4 人以上）。他産地が特定の品種に特化している場合が多いのに対して、大阪産地はほとんどすべての品種が生産されており、また、中小企業の割合が高いのが特徴である。

ただ、各企業の生産品種をみると、中小企業の大半は織網だけであり、中堅・大手は二品種以上を生産する企業が多い。

集中地域は、松原市阿保地区、東大阪市及び四条畷市である。このうち松原市は、ステンレス製織金網の製造業者が大半を占めており、その中でも、織目が極めて細かく生産に技術力が要求されるハイメッシュ（極めて細かい織目）金網の国内での生産シェアが相当高いものと推定される。また、他地域と比べて従業者数 2～3 人程度の小規模企業が多く、輸出割合が比較的高い企業が多い。

輸出については大阪府が全国の 8 割強を占めていると推定され、品種はハイメッシュの織金網が多く、対米向けの比重が大きい。

生産は底打ちへ 金網の生産動向をみると、平成 14 年中は 2 けたの減少が続き、大きく落ち込んだ。しかし、15 年に入ると前年同月比で 1 けたの減少にまで落ち込み幅が縮小し 16 年 3 月には前年同月比横ばい程度（企業ヒアリングによる）となり、総じて底打ちの気配が出てきた。

ただ、企業規模や生産品種によってかなりばらつきがあり、零細企業の多くがいまだに減少基調が続く一方で、中規模以上では強含みもしくは増加に転じた企業が多い。

品種別の動きをみると、土木・建築工事向けの溶接網や菱形網は、建築工事が低調なことから減少基調が続いていたが、16年に入り弱含みながらも一部で下げ止まりつつある。蛇籠は、公共工事が抑制される中でも、網目に植物が植えられるなど環境負荷を小さくする可能性があることからコンクリートの代替として護岸工事に底堅く推移している。

織網は弱含みが続いていたが、最近になってやや動きが出始めている。輸出については、需要を中国製織網に浸食されて不振となっている。しかし、内需をみると、自動車の生産ラインで用いられる網は15年年初から増加に転じており、自動車関連はフル生産が続いている。最近の設備投資の増加を受けて、産業機械の生産ライン向けも増加に転じた。ハイメッシュの中でもさらに網目の細かいスクリーンは電子機器関連生産向けに大幅に増加している。また、織網に占める割合はまだ低いものの、特殊素材を使った網は、液晶やプラズマディスプレイ関連及び薬品関連で好調に推移している例もみられる。

なお、最近の鳥インフルエンザの影響で、鶏舎用の亀甲網がフル生産となっている。

採算は厳しい 原材料の鉄線及びステンレス線の価格が最近大幅に上昇した。線材業者からは、さらに値上げを通告されておりコスト上昇要因となっている。

線材価格上昇分の製品価格への転嫁は、大手ユーザーの抵抗が強いことや同業者間の競争が厳しいことから、なかなか浸透せず採算が厳しい企業が多い。ただ、ハイメッシュの中でもさらに網目の細かいスクリーンを生産する企業では、他社に真似のできない技術力があることから、線材価格上昇分を完全に転嫁できている。

各社とも需要開拓に懸命 生産底打ちの気配が出てきたとはいえ、まだ、需要は総じて弱含みと言われており、各社とも需要開拓のため、様々な対策を講じている。例えば、大手がいやがる小口納入や即日配送を行うなどきめ細かな対応をとる企業もあれば、ユーザー指定サイズに切断、折り曲げ、部品の溶接などの加工を行ったりする企業もあるなど、ユーザーの利便性を高める工夫・提案をして需要開拓に取り組む動きがみられる。また、積極的に展示会に出品して製品紹介に努め、問い合わせをしてきたユーザーのニーズを探ることにより、金網の新規用途に結びつける企業も出てきている。さらに、織機の改良にまで遡って新製品開発に取り組んでいる企業もある。こうした試みが功を奏し需要開拓に成功している企業もみられるが、汎用品を織るだけの小規模層では人材が足りず、需要開拓ができないと苦慮する企業も少なからず見受けられる。

設備投資については、合理化のために新鋭機器を導入したり、設備補修の例がみられるが、大半の企業では需要低迷から慎重な姿勢を取っている。なお、新規採用については、一部を除いてほとんどの企業で見送っている。

再編の動きも 15年3月に、中堅の織網メーカーが大手企業に買収され100%子会社化された。この織網メーカーは業績はまずまずであったために、業界内に波紋が生じた。また、老舗金網メーカーが2月に倒産したこともあって、業界に再編の動きが出てくると懸念する向きもある。

今後の見通し 輸出は中国製品との競合で回復は困難であるが、国内需要は国内景気回復とともに徐々に増加すると期待する向きが多い。しかし、線材価格は今後とも上昇が見込まれるのに対し、金網の価格はユーザーの抵抗が強く同業者間の競争が激しいこともあって、強含み程度となっている。このため、線材価格をすべて転嫁できず、採算は厳しくなると予想する向きが多い。これに対し、中堅企業は新製品開発、新規需要開拓によって採算向上に努めるとす

る企業が多いが、汎用品を生産することが多い零細層は、生産を縮小し最終的には廃業も視野に入れることを検討する企業も出ている。

(柴 田)

	金網生産数量(トン)						輸出数量(トン)			
	溶接網	前年(同月)比	金網	前年(同月)比	蛇籠	前年(同月)比	合計	前年(同月)比	金網・溶接網	前年(同月)比
平成13年	228,276	-2.3	83,610	-12.8	35,835	-18.1	347,721	-6.8	2,291	-11.4
14年	182,466	-20.1	60,896	-27.2	25,859	-27.8	269,221	-22.6	1,868	-18.5
15年	170,498	-6.6	59,581	-2.2	28,127	8.8	258,206	-4.1	1,366	-26.9
14年12月	15,163	-24.2	5,141	-24.2	2,381	-12.7	22,685	-23.1	131	-27.2
15年1月	12,975	-10.7	4,694	-1.4	2,274	-0.8	19,943	-7.6	97	-46.7
2月	13,555	-3.1	5,267	-2.2	2,301	0	21,123	-2.5	101	-51.9
3月	14,188	-6.3	5,434	4.8	2,296	1.7	21,918	-3.0	154	-8.3
4月	13,583	-11.2	4,747	-2.5	2,118	13.9	20,448	-7.2	122	-15.3
5月	13,470	-6.6	4,302	-2.9	2,075	2.2	19,847	-4.9	132	-15.4
6月	12,947	-14.4	4,736	-2.4	2,167	22.4	19,850	-8.8	97	-40.1
7月	14,391	-7.6	4,667	-2.2	2,420	21.8	21,478	-3.8	122	-10.3
8月	13,152	-8.2	4,334	-1.3	2,001	5.3	19,487	-5.4	101	-40.6
9月	15,447	-3.4	5,013	-5.3	2,501	14.9	22,961	-2.1	87	-48.2
10月	16,632	1.0	5,605	-0.8	3,033	25.5	25,270	3.0	105	-13.9
11月	15,245	-7.3	5,567	-9.8	2,590	4.1	23,402	-6.8	95	-20.2
12月	14,913	-1.6	5,215	1.4	2,351	-1.3	22,479	-0.9	153	16.8

資料:線材製品協会